

学校と家庭・地域を結ぶ

白布城だより

2018 冬

栃木県立真岡高等学校定時制

栃木県真岡市白布ヶ丘24番地1

phone 0285-82-3413

Fax 0285-82-2913

巻 頭 言

教 頭 山下 拓男

レジリエンス(折れない心、しなやかな心)

本校に赴任して早9ヶ月が経ち、今ではさまざまな場面での、いろいろな生徒の顔を思い浮かべることができるようになりました。

廊下で顔を合わせると必ず元気よく挨拶をしてくれる生徒の「明るさ」、いつも真っ先にやってきて美味しそうに給食を食べてくれる生徒の「笑顔」、放課後に講堂の2階で筋トレに励む生徒の「元気」、三年間での卒業を目指して、学校が始まる前に登校して高等学校卒業程度認定試験に向けた勉強を頑張る生徒の「真剣さ」、全日制の生徒でも合格することが難しい実用英語検定準1級に合格した生徒の「努力」など。そのような生徒の姿や顔を思い浮かべると、一人ひとりが、真岡高校定時制を舞台として、青春の一時期を過ごしている主役なんだと思うことがあります。



もちろん、生徒たちは、「辛さ」や「苦しさ」といった困難な経験もしています。アルバイトから帰宅して仮眠をしたら寝過ぎてしまったと遅刻を謝る生徒には、「働きながら学ぶ苦労」を垣間見る思いがします。大勢の目に触れることはないけれど、苦労や困難に立ち向かっている生徒も多くいます。

最近、「レジリエンス」という言葉を見聞きするようになりました。「折れない心、しなやかな心」とも訳されている言葉で、自己を正しく認識する力、自分の感情や思考、行動を前向きに捉える心、周囲の人との連携などから成っているといえます。

これらの力や心を身に付けるためには、未知のことや困難なことに挑戦したり、耐えたり、乗り越えたりする経験が必要です。生徒たちには、今の自分にできることだけで満足するのではなく、一つ上の階段、一皮むけた自分を目指していくことで、ぜひ「レジリエンス」を身に付けてほしいと思います。そのために、私たち教員は時に優しく時に厳しく生徒たちを見守りながら、精一杯の支援をしていきたいと思っています。

保護者の皆様ならびに定時制後援会の皆様、そして、地域の皆様には、日頃より本校定時制の教育活動に多大なるご支援をいただいておりますことを、あらためて感謝申し上げますとともに、引き続きご理解ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

皆様、どうぞよい年をお迎えください。

●今学期の出来事●

さあ、スタートだ、始業式

台風21号が接近している9月3日月曜日、第2学期の始業式が行われました。4日火曜日の臨時休校がすでに決まっている中でも、晴天に恵まれた「秋空」が印象的な日でした。

軽部校長先生は、「事故等もなく今日を迎えられて嬉しい。2学期は、行事が多い。特に、修学旅行や進路など大きな出来事がある。リラックスしながらも、充実させた学期にして欲しい。」と話され、「どうせやるなら／すきになれ／すきになるなら／青春を燃やせ……」という、校長先生のお好きな「詩」を紹介され、「他人の意志を大切にしたい。」と、講話を締めくくりました。

希望を現実のものへ。

第2学期始業式に先立ち、8月31日金曜日に、卒業年次生を中心に、三修卒業希望2年次生、3年次生が参加して「進路ガイダンス Part 2」が行われました。

就職試験を目前に控えたこの時期、実践的な内容の重要な講座となりました。

生徒たちは、「挨拶の重要性」「印象に残る自己アピール」「身に付けたいマナー」を学びました。特に、普段あまり使われなくなった感のある「敬語の使い方」や「笑顔の重要性」など、身近であって遠い作法に、頷いたりして真剣に取り組んでいました。

「明日の社会人を目指して！」これは、多くの定時制生徒の目標です。生徒は、常日頃からそれを心がけて、生活をして欲しいと思います。



「新生徒会」丸、出港する。

台風一過の9月5日水曜日、予定通り「第二回生徒総会」が開かれました。この総会では、「後期の生徒会役員承認」が主な議題です。4年次の石川飛砂雄君が旧役員としての最後の司会を担当し、大高紘章君（3年次）が開会の言葉を述べて開会されました。

最後に、新生徒会長の橋本明奈さん（3年次）から、「役員一同、精一杯頑張ります。」と挨拶がありました。

どうか、浚刺とした生徒会にして欲しいと思います。

30年度後期 生徒会役員一覧

会 長	橋本 明奈（3）	
副会長	田上 祐子（3）	安田 幸一（2）
書 記	野澤 茉衣（3）	田辺 厚（2）
会 計	清本はるみ（2）	篠崎 柊人（1）
会計監査	波多野健也（1）	中川 凜華（1）



先輩、よろしく！

気温 28℃と、やや涼しくなった 10 月 3 日水曜日、平成 28 年度卒業生の野澤駿也君（日光ホテルズ JR 日光駅前勤務）、森合優香さん（docomo ショップ二宮店勤務）、李 ヨシ君（アイ・エス・ケー勤務）の三名をお呼びして、現在の仕事内容や高校時代の生活、進路先決定の決め手など、在校生に必要な話をしてくださいました。

三人とも、高校時代のアルバイトを通して得た知識を生かして、現在、仕事をしているようですが、休暇などは疲れてしまって「遊び回る」ことはあまりないようです。

在校生も、今後の進路を決める際の参考になったと思います。

本校生、がんばる。県高校定通文化発表会

栃木県内の定時制通信制高校に学ぶ生徒が一同に集う「栃木県高等学校定時制通信制文化発表会」が、10 月 13 日土曜日、栃木県教育会館大ホールで開催されました。

今年度、真岡高校は、大田原東高校、矢板東高校、宇都宮商業高校と共に当番校となりました。その上、本校は主催当番校として全先生方と多くの生徒が役目に就き、発表会全体の進行に携わったのです。

詳しいことは、来春発行の「生徒会誌『白布城』」に掲載されますので、ご覧頂きたいと思います。

無事、役割を立派に果たした生徒達は、緊張感から解放されて満面の笑みを浮かべていました。

本校代表で「生活体験発表」を行った谷田部侑弥君（2 年次）も、自分のリアルな生活体験を立派な態度で発表しました。

また、ポスター部門で、数ある応募作品の中から、野澤茉衣さん（3 年次）が、優秀賞に入賞しました。



関西の思い出は、今も胸に！

3 年次生恒例の修学旅行が、10 月 17 日水曜日から 19 日金曜日まで行われました。

山下教頭先生を団長に、教員 3 名生徒 11 名の 14 名の旅行団は、広島・大阪・京都方面の歴史や文化を見聞し、充実した時間を過ごしたようです。生徒たちは、宮島の光景に感動し、広島「広島焼き」に舌鼓をうち、京都では伝統の和菓子作りを体験してきたようです。

全員無事に帰校し、翌週から、元気に授業復帰をしました。



那須・茶臼岳のふとこで

遅い秋の気配が感じられる 10 月 19 日金曜日、全校生徒（修学行生は除く。）は、那須ハイランドパークにおもむき、「校外研修」を行いました。

各学年各グループは、数ある乗り物を楽しんだり、笑顔でランチを取ったりしていました。

普段、学校生活では見られないような「笑顔」があちこちで見られ、楽しいひと時を過ごすことができました。



真岡ライブリーとの交流

本校生徒会は、毎年、真岡ライブリーとの交流会を行っています。今年度は、橋本明奈生徒会長をはじめ、生徒会役員が、ライブリーに通う生徒とゲームなどをして、有意義なひと時を過ごしてきました。

昨年度は、この交流会がきっかけで本校受験に踏み切った生徒もいます。今後の充実が、一層、期待されます。

生き生きとした笑顔、炸裂！

新生徒会役員の最初の行事となる「定時制祭」が、11月7日水曜日に、多目的ホールで行われました。

橋本明奈生徒会長の音頭のもと、新生徒会役員が協力してさまざまなゲーム等を楽しみました。

会員達も、楽しそうな、生き生きとした表情を見せていました。



わざわざは忘れた頃にやってくる

暖房器具が恋しくなった11月14日水曜日。本校生徒昇降口前を避難場所に、「防火防災避難訓練」が行われました。

現在、南海トラフを震源地とする地震発生や、さまざまな災害の危険性が高まっています。東日本大震災の記憶もまだ新しい昨今ですが、「のど元過ぎれば熱さ忘れる」私たちですから、定期的な訓練は重要です。避難訓練のあと、芳賀地方消防署員の方から、AEDの操作法など、「まさか」の時の対処法も復習しました。

わざわざには遭遇しない方が良いに決まっていますが、「その時」に慌てたり尻込みしたりしないように、常日頃から心構えをしておくことが大切だと思います。



ダメ、絶対！薬物乱用

本格的な冬の寒さが訪れた12月12日水曜日、1, 2時間目に「薬物乱用防止講話」が行われました。今年度は、栃木県保健福祉部薬務課から講師の先生が来校されました。

講話に先立ち、山下教頭先生から、講師の紹介を含め、「皆さんは、風邪を引いたとき、どんな薬を服用しますか？」という、導入の話がありました。

講師の先生は、「薬物には、絶対、関わって欲しくない。」ということを根底に、糖尿病の薬でも、処方間違いれば、死に至る危険がある。ましてや、「薬物」は、一回でも使用すれば『乱用』になり、必ず、常用に発展してしまう。」「薬物」は個人の問題だと思われるが、常用することにより窃盗事件を起こしたり家庭破滅を引き起こすなど、必ず、破滅の道にはまってしまう。」など、栃木県内の数値などを引き合いに出して説明してくれました。

二部では、DVD『ストップ！薬物乱用～危険ドラッグの恐怖～』を視聴。生徒達も、遠くて身近な話に、真剣に見入っていました。



スポーツ大好き、真高定生

寒くなったり温かくなったりの今年の冬ですが、第2学期も押し詰まった12月20日木曜日、本校講堂において「校内体育大会」が行われました。

2学期の実施種目は、バレーボール。今学期、体育の授業で練習した成果を、各学年、クラスの各チームは楽しみながらも十分に発揮していました。

なお、メンバーが足りない学年チームには、教職員の有志が「助っ人」に入りました。若い高校生に混じって、和やかにプレーしていましたが、どのチームも最高のパフォーマンスを見せてくれました。

結果は、下記の通りです。

優 勝	2 - 2
準優勝	4 - 1
第3位	1 - 1 B



第2学期終業式

12月21日金曜日、本校定時制では「第2学期終業式」が行われました。

三つの学期で一番長く、また、様々な行事のある2学期ですが、それぞれの行事を、教職員と生徒が一丸となって取り組み、これまで述べたような大きな成果を挙げることができました。

式で、軽部校長先生は、「生徒の皆さんの頑張りで、就職・進学に立派な成果を挙げることができた。また、県の定通文化発表会でも、司会進行や受付などで、素晴らしい活躍をしてくれた。生徒の皆さんは、一人ひとり、その緊張した、貴重な経験を自信に変えて今後の人生を歩んで欲しい。」と、充実した今学期を振り返り、「過去と他人（ひと）は変えられないが、未来と自分は変えることができる。」というNHKの『こころの相談室』の言葉を引用され、「人間として、今、なすべき事を一所懸命に行っていく。今、目の前のことに没頭しよう。思うように成果が上がらないといって投げ出さないで、『継続』すること、何事にも『専念』することが成功の鉄則です。」と述べられました。

3学期は、今年度の締めくくりの重要な学期。事故無く、元気に会いましょう。」と、話されました。

●トピックス●

希望生徒全員、進学・就職戦線を乗り切る！

9月16日、全国一斉に解禁となった「就職試験」。本校生は、夏休みや2学期早々の時期に準備を進めて、試験に臨みました。

結果は、就職希望者が真剣に頑張った結果、全員、各社から「合格内定」をいただき、進学希望者も、志望校に進学が決まりました。

わが国は、現在、「人手不足」が喫緊の課題となっているようですが、他校の現状を見ても、本校定時制の「合格内定100%」は、それなりに誇れる結果であると言えます。

来春卒業予定者は、どうぞ、残された高校生活を有意義に生活してください。

県高校定通秋期体育大会報告

運動部活生にとって、他校との対抗戦は、6月に行われる「県高校定通総合体育大会」ですが、10月から11月にかけての秋には、ひと夏、練習を積んだ成果を競う「高校定通秋期体育大会」が、種目毎に行われます。

今年度、本校は、卓球・バドミントン・サッカーのそれぞれの部活動が参加しました。関東や全国大会につながる大会ではありませんが、部員は、試合に向けて積極的に練習に励んでいました。

上位入賞は、下記の通りです。

卓球	男子団体	第3位
	女子団体	第3位

バドミントン 男子シングルス 準優勝 上野滉（2）

芳賀地方芸術祭参加・入賞者一覧

本校定時制では、国語の授業（「国語総合」「現代文 A」）を活用して、3年前から芳賀地方芸術祭に参加しています。

今年度は、初めて4学年がそろって参加できました。

1学期の中間テスト終了後、韻文（詩や短歌・俳句）の歴史や特徴などの勉強をして、各自、その分野を選んで、作品制作に取りかかります。「無から有を生じる」苦しみや楽しさを味わって完成した作品には、ことのほか愛着も湧いたことでしょう。

毎年、同じジャンルを選んで創作する生徒も、毎年、違ったジャンルを選択する生徒もいます。先生は、「作品制作」という土壌を生徒に与えてヒントや方向性の話はしますが、作品制作そのもの（言葉の指示など）に関与することはない、と話していました。

今年度は、下記の結果が発表されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。また、制作された作品は、「生徒会誌『白布城』」に掲載する予定です。



■俳句

入選

佐藤	未来（4）
高橋	萌（3）
大西	来希（1）
松山	遙樹（1）

■短歌

入選

田上	祐子（3）
----	-------

■詩

入選

鈴木	隼人（2）
高橋	昇（1）

＜愛情コットン＞ファーム、報告

今年度も、本校の特色ある活動である「真高定時制コットンファーム」が、1年次生有志の活躍でたくさんの綿を収穫することができました。

木村美津子先生と、今年度新たに携わった横川航一先生のご指導で、春に種を蒔き、天候の様子を見ながら水をやり、生徒有志が草むしりをするなど愛情を込めて育てました。綿花の茎は、今年の異常な暑さの下、予想以上に背丈が伸びてしまいましたが、時機を得てきれいな黄色の花を咲かせ、秋には「綿」を収穫。横川先生を中心に、種取りをした後、「カッター掛け」という綿の繊維の目を整える作業を行いました。その結果、この秋に、「コットンボール」がたくさん出来上がったのです。

現在は、部屋の中で静かに寝かせてありますが、来年度、新1年生が糸を紡いで作品にする、という二年がかりの作業です。

機会がありましたら、定時制生徒と先生方の愛情こもった「綿」をご覧ください。



ボランティアで地域にご奉仕

12月14日金曜日。生徒の登校時間を繰り上げて、「全校ボランティア活動」が行われました。

地域連携担当の熊井清晃先生の指示のもと、各学年ごとに学校敷地内外の「落ち葉・ゴミ拾い」を行い、つづいて、学校周辺の路上清掃を行いました。

一昨年度から、真岡西ロータリークラブの皆さんとの共働での行事になりましたが、作業が終わってからの「ティー・タイム」では、生徒や先生に混じってロータリアンも談笑に加わり、短い時間ではありましたが、有意義な交流ができました。

担当の熊井先生からは、このボランティア活動についてのいくつかの案も提示されていますので、今後の展開が楽しみです。



快挙！！英検準1級、2名合格

この秋に実施された「実用英語検定」で、本校からチャレンジしたマルケズカルロス君（1年次）とナリカ ルイスさん（1年次）は、高校生としては難関である「準1級」（大学2年終了レベル）に合格しました。

マルケズ君もナリカさんも海外での生活が長いのですが、英語圏で生活していたわけではないそうです。英語科の小森法史先生の熱心なご指導に最後までついて行き、見事、合格の栄を得たのです。「1級」合格を目標に励んでもらいたいと思います。

また、3級にも、橋本 明奈さん（3）、廣本 波美さん（1）が合格。普段の頑張りが成果に表れました。

まずは、合格者の頑張りをお知らせいたします。あめでとう！

◆第2学期出席率一覧◆

今学期も、多くの生徒たちは、毎日元気に登校して学校生活を送っていました。

中には、さまざまな悩みを抱えたり集中力が欠けてしまったりした者もいましたが、現在、ほとんどの生徒は元気に登校しています。

過去には、2学期間クラス全員が皆勤（無遅刻、無早退、無欠席）のクラスもありました。現在の生徒諸君にも、ぜひ、そのような「野望」を持って生活して欲しいと思います。

4年次1組	88.3%
3年次1組	89.6%
2年次1組	96.3%
2年次2組	88.8%
1年次1組	96.8%
1年次2組	84.0%
平均	90.6%

(平成30年12月6日まで)

◆第2学期皆勤賞受賞者◆

4年次1組	佐藤 未来								
3年次1組	大高 紘章	関谷 優作	田上 祐子	増渕 晃大	吉羽 彩花				
2年次1組	佐藤 政則	高田 智也	田辺 厚	安田 幸一					
1年次1組	篠崎 柊人	高橋 昇	波多野健也						

以上 13名

白布の風～あとがきにかえて～

戌年の今年も、もう間もなく終わろうとしています。と、同時に「平成時代最後のお正月」がもう、間もなくです。

保護者の皆様、白布ヶ丘にお住まいの皆様、そして、真岡高校定時制後援会の会員の皆様、一年間、本校生をお見守り、ご指導くださいまして誠にありがとうございました。お陰様で、真岡高校定時制は、大過なく平成30年(2018年)を乗り切ることができました。

しかし、この1年を回顧してみますと、「極寒と大雪」に見舞われた冬、それに相対するかのよ様な「酷暑・猛暑」といわれた夏、温かさと寒さが交互にやって来る初冬。「地球温暖化が最大の原因」と言われながらも、それを軌道修正する確たる手段を実行に移せない人類。「笛吹けど踊らず」という古い言葉が、今更ながらに脳裏を駆け巡ります。このまま行くと、「地球環境破滅」という最悪の事態が急速に近づいているような未曾有の事態を迎える恐怖を感じます。

ともあれ、本校生の活躍は、今学期の様々なシーンで見られました。殊に、記事にもありますとおり、県高校定通制文化発表会では、当番校として、総指揮である熊井清晃先生の下、多くの生徒たちが、緊張の中にも任務を立派に全うして、成功裏に閉会させることができたのは、常日頃の先生方の指導と、何事にも真摯に取り組む生徒の真面目さの成果ではないかと思えます。改めて、担当生徒に拍手を送りたいと思います。

さて、皆さま、年の瀬は何かと慌ただしく事故も多く発生する時期でもあります。どうぞ、十分お気をつけて 楽しいお正月をお過ごしください。

一年間、お世話になりました。

文責：記録・広報係